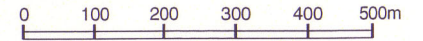


山科川の自然にふれる◆野鳥観察◆

山科区の中央をながれている山科川。昔は大雨で水害をもたらすこともありました。河川改修により護岸や遊歩道が整備され、安全な都市河川として親しまれるようになりました。流域には、一年を通して多くの種類の野鳥が生息しています。親子でバードウォッチングをしてみませんか。



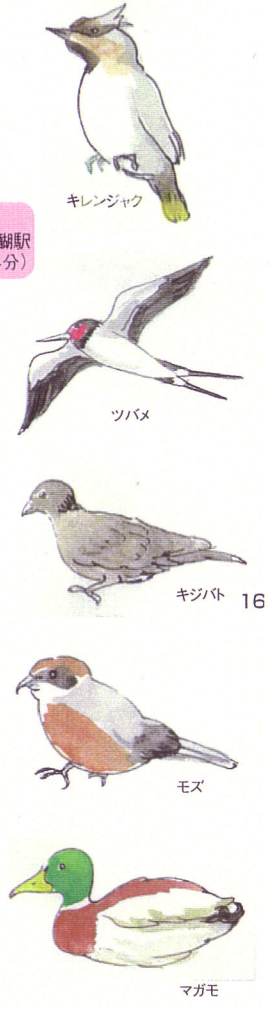
【交通案内】 地下鉄東西線東野駅下車・出口①③

【順路】 距離 3.5km

地下鉄東野駅 → 東野橋 → 離宮橋 → 山科中 → 柳辻橋 → 新金ヶ崎橋 → 2分
 6分 → 9分 → 3分 → 8分 → 6分
 動修中 → 小野小 → 東出橋 → 地下鉄小野駅
 5分 → 5分 → 3分



G
コース



15

野鳥観察のビューポイント
 山科川・旧安祥寺川・山科疏水・牛尾山道

野鳥観察のマナー
 や 野鳥には、やさしい気持ちで
 ち 近づきすぎず
 よ よしてね、ヒナをつかまえるのは
 う うつくしい姿は、写真に撮ってかえろう

野鳥観察の持ち物
 ● 双眼鏡 倍率7〜10倍のものがつかいやすい
 ● 野鳥図鑑 小さめの本が携帯に便利
 ● ノート 見ることができた野鳥の名前や特徴を記録しておくとのしい

①「アオサギ」
 山科川にいる野鳥でいちばん大きい鳥を見つけたらそれはアオサギです。翼を広げると1.5mくらいの大きさになる、水上をゆっくりと飛んでいる姿はまさにグライダーのように雄大です。

②「コサギ」
 コサギといっても子供のサギではありません。小型のサギで足の先が黄色。活発に歩き、浅い水辺では足を震わせるようにしてエサをとります。ときどき、「グァー」としわがれ声を出すのでびっくりしないですね。

③「カワセミ」
 背中はコバルトブルー、お腹はオレンジ色という大変オシャレな鳥です。「飛ぶ宝石」とも呼ばれています。でも、魚を捕まえるときはホバーリングもし飛び込むスピードはハヤブサのように早い！

④「セグロセキレイ」
 山科川でよく見る事ができる鳥で、波状の飛び方をします。頭部から胸・背・尾にかけて上半身は黒色で、腹部と眉の所だけが白くなっています。尾を上下に振りながら歩く特徴があります。

⑤「カルガモ」
 冬鳥のマガモやコガモなどとは異なり、1年中見られる鳥です。クチバンは黒っぽく先端がオレンジで、オス、メス同色です。春から初夏にかけて小さい子供をつれて泳いでいるところを見られたらラッキー！

⑥「カワラヒワ」
 河原や畑地で群れになって飛び、木の上や電線によく止まります。スズメと間違えそうですが、飛ぶと翼の黄色が目立ちます。「キリキリコロ キリキリコロ ビーン」や「ビィ ビィビィ」とよく鳴きます。



山科で観察できる野鳥
 カイツブリ・ダイサギ・ゴイサギ・ササゴイ(夏鳥)・オオタカ・トビ・コガモ(冬鳥)・イカルチドリ・イソギ・コガラ・コシアカツバメ(夏鳥)・キセキレイ・ハクセキレイ・ヒヨドリ・ジョウビタキ(冬鳥)・ツグミ(冬鳥)・ウグイス・シジュウカラ・メジロ・ホオジロ・アオジ・スズメ・イカル・ムクドリ・ハシブトガラス・ハシボソガラスなど